

縄文土器デジタルアーカイブ国際研究ネットワークの構築

藤田晴啓 宮尾亨 近山英輔

事業目的

新潟県の縄文土器である火焰型土器などのデジタルアーカイブを構築し、出土遺跡・遺構、出土状況、帰属型式などの情報を含む高精度・高解像度デジタルデータを共同利用できるプラットフォームとして運用し、世界に先例のない考古資料国際共同研究ネットワークを実現する。本研究はデジタルアーカイブネットワーク構築による、縄文土器全般の多様な解析と研究の促進、日本で確立された系統・型式分類研究の世界標準化、新潟県の縄文土器の世界標準化と発信力強化をめざし、その芸術性や普遍性を解明することを目的とする。共同研究終了後の長期的な目標としては世界の縄文土器研究者の増加による新潟県縄文土器研究の進展、そして新潟県古代文化の象徴としての縄文土器を世界中に発信することである。

事業概要

長岡市立科学博物館、十日町市博物館、津南町教育委員会、新潟県埋蔵文化財センター、新潟県立歴史博物館が所蔵する約3200点の新潟県内の縄文土器を3Dスキャンおよびメタデータによるデジタルアーカイブを構築する。既に令和5年度に長岡市立科学博物館所蔵の816点のアーカイブは終了しており、令和6年度からは新潟県埋蔵文化財センター所蔵の縄文土器デジタルアーカイブを構築し、令和7年度は津南町教育委員会、令和8年度は十日町博物館とアーカイブを順次拡充する。同時に国内、英国、フランス、スペインにて縄文土器デジタルアーカイブ共同利用のワークショップ開催により国際研究ネットワークを構築する。このワークショップでは3Dデータの解析方法を含み、より多くの世界中の研究者が多種多様な縄文土器解析に参加できる枠組みによる研究基盤を構築する。併せて県民向けの一般公開講座を開催する。

事業計画

(令和6年度)

新潟県埋蔵文化財センター収蔵（新潟県所有）の六反田南遺跡を中心とした縄文土器約800資料アーカイブの追加構築。国内、イーストアングリア大学（英国）、東洋言語文化大学（フランス）、アルカラ大学（スペイン）にて新潟県の縄文土器アーカイブ利活用ワークショップ開催。デジタルアーカイブの精度、格納利用方法、メタデータ整備基準の作成を行う

(令和7年度)

十日町市博物館収蔵の野首遺跡を中心とした縄文土器約800資料アーカイブの追加構築。

国内（長岡市および新潟市）,イーストアングリア大学（英国）,東洋言語文化大学（フランス）,
アルカラ大学（スペイン）にてアーカイブプレリリース縄文土器解析研究ワークショップ開催
デジタルアーカイブ整備基準に従い,3D+メタデータ整備,著作権管理・認証システムを構築

（令和8年度）

津南町教育委員会所蔵沖ノ原遺跡を中心とした縄文土器約800資料アーカイブの追加構築

日欧の研究者を中心とした縄文土器国際研究ネットワークシンポジウムの開催（長岡市および
フランス）

デジタルアーカイブの整備終了および国際的リリース,著作権管理・セキュリティ基準の向上